

## 20. 活発に遊ぶ子にするには

**【問い】** 2歳8ヵ月になる娘ですが、近所の子どもと一緒に遊ぼうとしません。たまに遊びに出てもすぐもどってしまいます。活発に遊ぶ子に育てたいのですが。

**【答え】** 子どもにとって遊びは生活そのものであり、遊びを通して心身の発達を促し、創造性や社会性を獲得するのに極めて大切な要件となっています。子どもの遊びは年齢の進行にともなって大きく変化します。一般に子どもは2歳半ごろから友だちを求めようになりますが、このころはおもちゃを取ったり、取られたりが主で、相手は1人か2人です。ところが3歳すぎになると同じ年ごろの子どもとの交渉を求め、友だちのなかに入って遊ぶようになります。学童期に近づくにつれて活発化し、交友範囲も拡大され、1人でもかなり遠くまで出かけるようになります。

お宅のお子さんは年齢からみて、活発な仲間遊びや外遊びができるまでにいたっていません。ですから心配ないと思います。しかし仲間遊びや外遊びをしない原因を調べると①熱中できるほど気の合った友だちがない②過保護に育ち、友だちと遊ぶことに不安③親の干渉が強く、消極的になっている…などがあげられます。

このようなことをなくすため、当分は1つの遊びに熱中できるようにすることです。遊びに対し必要以上に世話をやかない。遊ぶ楽しさを味わわせておくことを心がけるべきです。要は家庭で、両親や兄弟と思う存分遊べれば、今の年齢としては十分でしょう。